

一般質問

地域医療構想について  
公立能登総合病院の地域医療構想について

**質** ①能登病院では、2025年度を想定して、病床数を算定していると思うが、地域医療構想との違いを伺う。②医師は5年間の猶予期間があるものの、過労死ラインを超える時間外労働をなくすための方策を伺う。③地域医療構想に基づく医療費抑制をやめ、地域の実情に合わせた住民参加の地域医療計画を策定する考えがあるか伺う。

答

①在宅医療が難しい能登地域では、病床削減により患者の行き場がなくなることが懸念され、能登中部医療圏では総人口は減少するが、高齢者人口は2030年までは増加するものと推定されており、現在、約9割の病床が稼働していることから、当面は病床数を維持し、削減する予定はない。②当院では不足する医師の負担軽減のために、チーム医療を進めると同時に医師事務作業補助者を14名配置し、書類作成の代行入力をし、医師が行う特定の医療行為ができる特定看護師というものを養成、配置し負担軽減に努めている。当直翌日の午後には帰宅できるように勤めており、さらに複数主治医制を全ての診療科で達成できるよう、医師の確保を大学にお願いしている。③既に地域住民の代表や、医療関係者などが参加する形で地域医療構想会議が行われており、将来の医療需要、必要病床数などについて協議が進められている。病床削減については、地域医療構想の推計値を参考にしながら、将来計画について、能登病院協議会で地元協議していく予定である。



議員 和典 儀貝 (無会派)



公立能登総合病院

- 【その他の質問項目】
- 消費税と病院経営対策について
- 変形労働時間について
- ふるさと納税について
- 指定管理者制度について

一般質問



議員 敬夫 木下 (無会派)



PCB調査について  
化学物質ポリ塩化ビフェニルが使われたものはないか！

質

人体に有害な化学物質ポリ塩化ビフェニル（PCB）が全国の橋やダム、鉄橋や水門といった大規模施設の一部塗料に含まれているとする環境省の調査結果が発表され、調査費用や除去作業には相当の費用がかかるようだが、橋梁の老朽化対策など課題山積の中、新たな問題であるこのPCBの問題に対して市の今後の対応を伺う。

答

橋梁塗装の対応について、当市が管理する橋梁、市道橋で456橋、農道橋・林道橋合わせて15橋、計471橋のうち、PCBを含む塗料が国内で製造・使用された期間に造られた鋼鉄製の橋1橋あったが、この1橋については、橋梁長寿命化計画に基づき、平成23年度に塗装の塗り替え、修繕を実施しており、PCBを含む塗料が使用されている橋梁は、現在当市が管理する中にはない。

【その他の質問項目】

- 七尾まち・ひと・しごと創生総合戦略について

動議

議員定数削減を求める動議

今定例会で、永崎陽議員から、議員定数削減を求める動議が提出され、討論・採決の結果、賛成少数で否決されました。

内容

議員定数の削減を図ることにより、議員報酬の歳出額を抑制することにつながる提案

結果

18名 ↓ 15名 (3名減)  
賛成少数で否決



動議とは？

動議とは、一般的に会議の途中において、予定外に発議される、会議の意思決定を求める提案のことです。